

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

- 朝日杯フューチュリティSはドウデュースが優勝
12月19日(日)に行われた朝日杯フューチュリティS(G I)ではドウデュース(牡2歳/栗東・友道康夫厩舎)が優勝しました。小倉でデビューした馬の優勝は同レース史上初のこととなります。
- 横山武史騎手がJRA年間100勝を達成
12月19日(日)の5回中山6日・第6レースではスコラーリが1着となり、同馬に騎乗した横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)は、自身初となるJRA年間100勝を達成しました。達成時の年齢22歳11か月28日は武豊騎手の19歳8か月12日に次ぐ若さとなります。
- 岩田望来騎手がJRA通算200勝を達成
12月19日(日)の6回阪神6日・第1レースではヴァレーデラルナが1着となり、同馬に騎乗した岩田望来騎手(栗東・藤原英昭厩舎)は、現役60人目となるJRA通算200勝(2176戦目)を達成しました。
- 小西一男調教師がJRA通算500勝を達成
12月19日(日)の5回中山6日・第12レースではボーンジーニウスが1着となり、同馬を管理する小西一男調教師(美浦)は、現役27人目となるJRA通算500勝(延べ6675頭目)を達成しました。
- 松山弘平騎手が中京リーディングジョッキーに輝く
12月19日(日)をもって本年の中京競馬が終了し、6回の開催で計52勝をあげた松山弘平騎手(栗東・フリー)が中京競馬リーディングジョッキーとなりました。
- アグネスデジタル、ノボトゥルーが死亡
2001年天皇賞(秋)(G I)や2002年フェブラリーS(G I)などの勝ち馬で史上初めて“芝・ダート両方のJRA・G I制覇”を成し遂げたアグネスデジタル(牡24歳/JRA通算21戦7勝・地方8戦4勝・海外3戦1勝)が、12月8日(水)、北海道幕別町の十勝軽種馬農業協同組合・種馬所で死亡しました。翌9日(木)には2001年フェブラリーS(G I)などの勝ち馬ノボトゥルー(牡25歳/JRA通算39戦7勝・地方48戦4勝・海外1戦0勝)が、北海道日高町のクラウンホースメイトで死亡しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

- 名古屋グランプリ(名古屋)でヴェルテックスが重賞初制覇
名古屋グランプリ(Jpn II、12月23日、名古屋、2500^円)は、4番手を追走したヴェルテックス(横山武史騎手、牡4歳、父ジャスタウエイ)が、先に抜け出した2番人気のケイアイパープルを直線入口で捉えて2馬身突き放し、1番人気に応えました。逃げたダンビュライトが3着に粘り、ドスハーツは5着、3番人気のライトウォーリアは8着でした。
- テイエムサウスダンが兵庫ゴールドT(園田)で人気に応える
兵庫ゴールドトロフィー(Jpn III、12月22日、園田、1400^円)は、4番手から差を詰めた単勝1.9倍で断然人気のテイエムサウスダン(岩田康誠騎手、牡4歳、父サウスヴィグラス)がゴール前で差し切り、58^秒を克服して4度目の重賞制覇。トップハンデ59^{kg}で2番人気のラプタスが1馬身差の2着に入り、ワイドファラオは4着、ヒロシゲゴールドは最下位の11着に敗れています。
- カペラ賞はJRA出身のタケノサイコウ【各地の主要2歳重賞】
カペラ賞(11月14日、佐賀、1800^円)は、出遅れて中団に取り付いたタケノサイコウ(牡、父ロードバリ奥斯)が4コーナーで前を捉えてそのまま押し切り、単勝元返しの支持に応じてJRA(2戦未勝利)から転入以来の連勝を7に伸ばしました。ローレル賞(11月9日、川崎、1600^円、牝馬)は、2番手から直線半ばで先頭に立った4番人気の北海道からの遠征馬スティールルージュ(父マジステックウオリアー)が後続をハナ差抑え、フルールCに次ぐ重賞2勝目。プリンセスC(11月14日、盛岡、1400^円、牝馬)は、序盤後方から徐々に位置取りを上げた単勝1.2倍で圧倒的人気の北海道所属馬レディーアーサー(父パイロ)が残り200^mを切った辺りで抜け出し、イノセントCに次ぐ2度目の重賞制覇を果たしています。
※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

- フランスの伯楽ドゥロワイエデュブレ調教師が引退
2008年にフランスのチャンピオントレーナーに輝いたアラン・ドゥロワイエデュブレ調教師(77歳)が今年限りで引退します。ドゥロワイエデュブレ調教師は1972年に開業。1980年代に入るとアガ・カーンIV世殿下のフランスにおけるメイン厩舎となり、1984年にはダルシャンでG1仏ダービーを制覇。以降、仏ダービーをムクター(1985年)、ナトルーン(1987年)、ダラカニ(2003年)、ダルシ(2006年)、リアリアルマン(2011年)と計6度も制したほか、G1凱旋門賞にもダラカニ(2003年)、ザルカヴァ(2008年)で2勝をあげました。
- コックス調教師が北米年間取得賞金レコードを更新
アメリカのブラッド・コックス調教師(41歳)が12月17日のオークローンパーク競馬場の第6レースをインドリームズで優勝。C.ブラウン調教師が持っていた北米年間取得賞金記録(2019年。3111万2144^{ドル}＝約35億1567万円/1^{ドル}113円で換算)を更新しました。コックス調教師は今年これまでにニックスゴーで制したブリーダーズクラシックや、エッセンシャルクオリティで勝ったベルモントSなどG1・10勝をあげています。